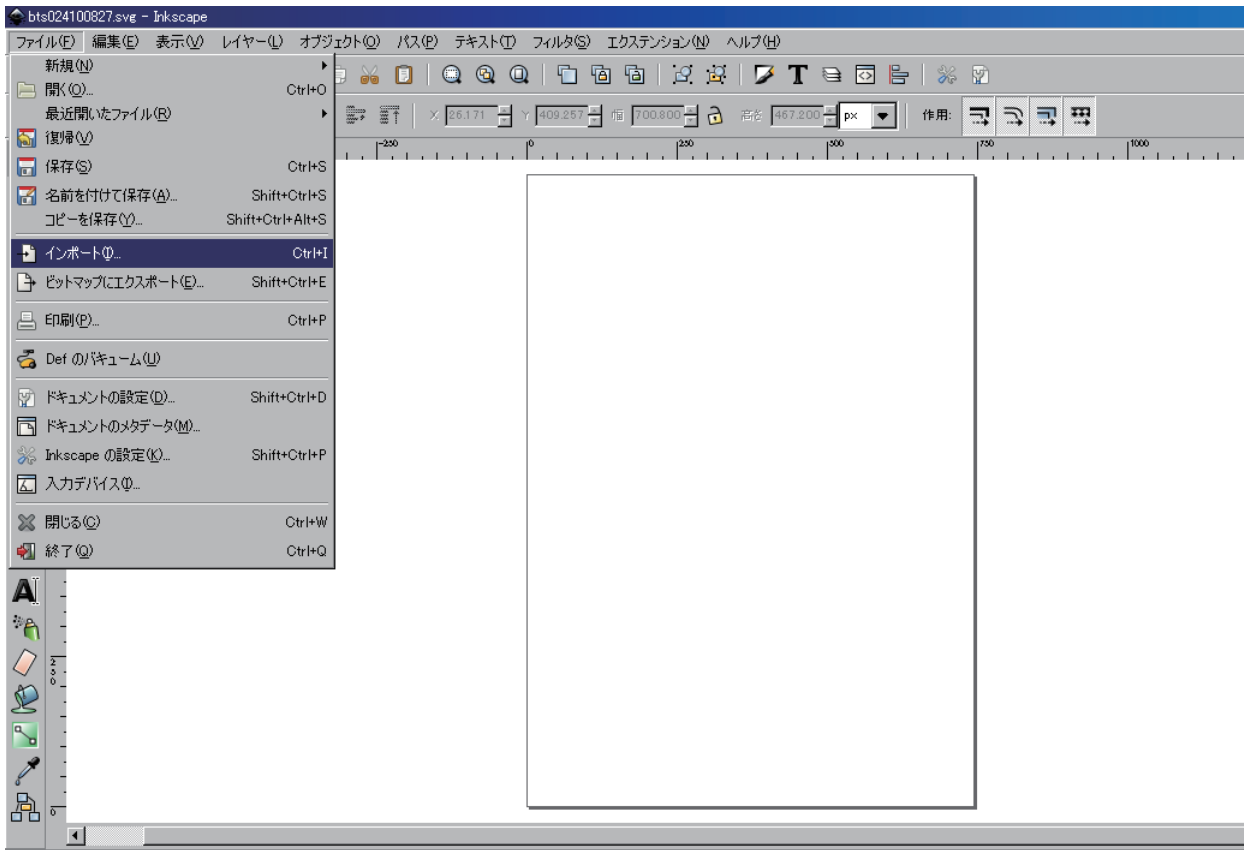
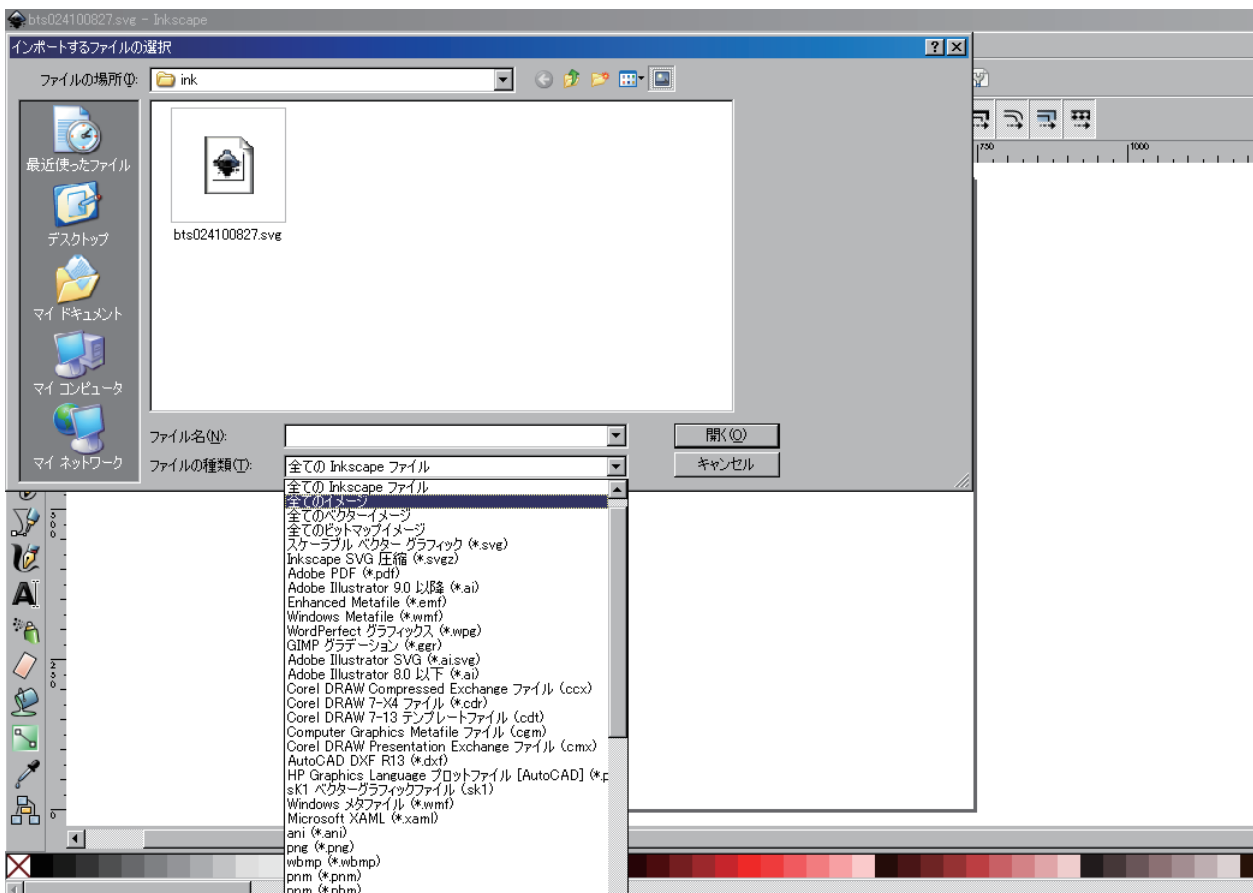


画像の読み込み

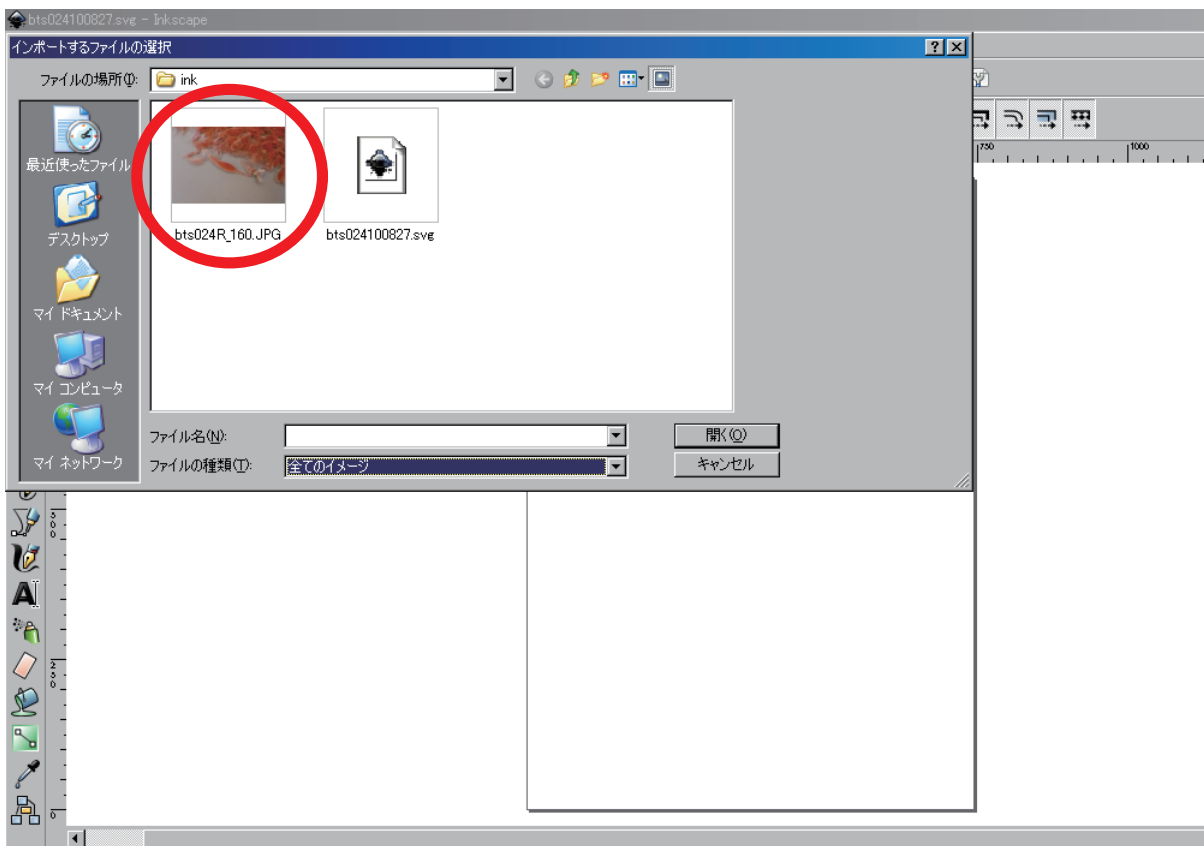


ファイルからインポートを実行

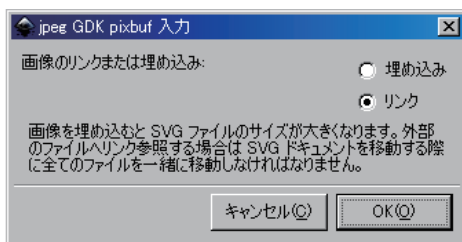


ファイルの種類を選択する。初期設定では「全てのInkscapeファイル」となっており、jpg等を読み取れないので「全てのイメージ」を選択する。

画像の読み込み



jpg等の画像ファイルが表示される。読み込みたい画像ファイルを選択し「開く」をクリックすると下のようなダイアログが現れる。

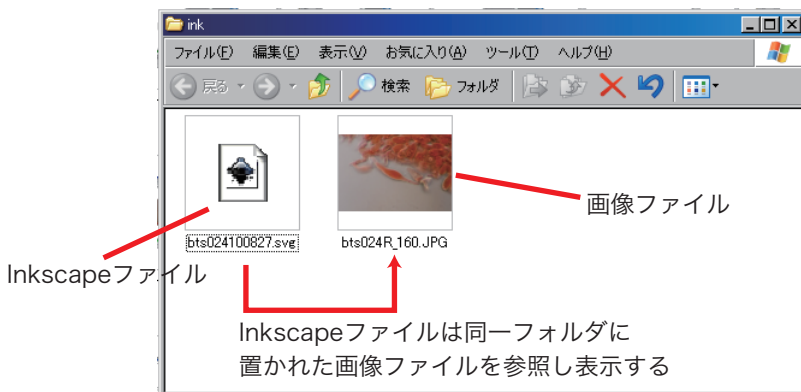


1) 画像の埋め込み

Inkscapeファイル(拡張子.svg)を保存する際、読み込んだ画像を含めて保存される。Inkscapeファイルのファイルサイズは大きくなる。

2) 画像のリンク

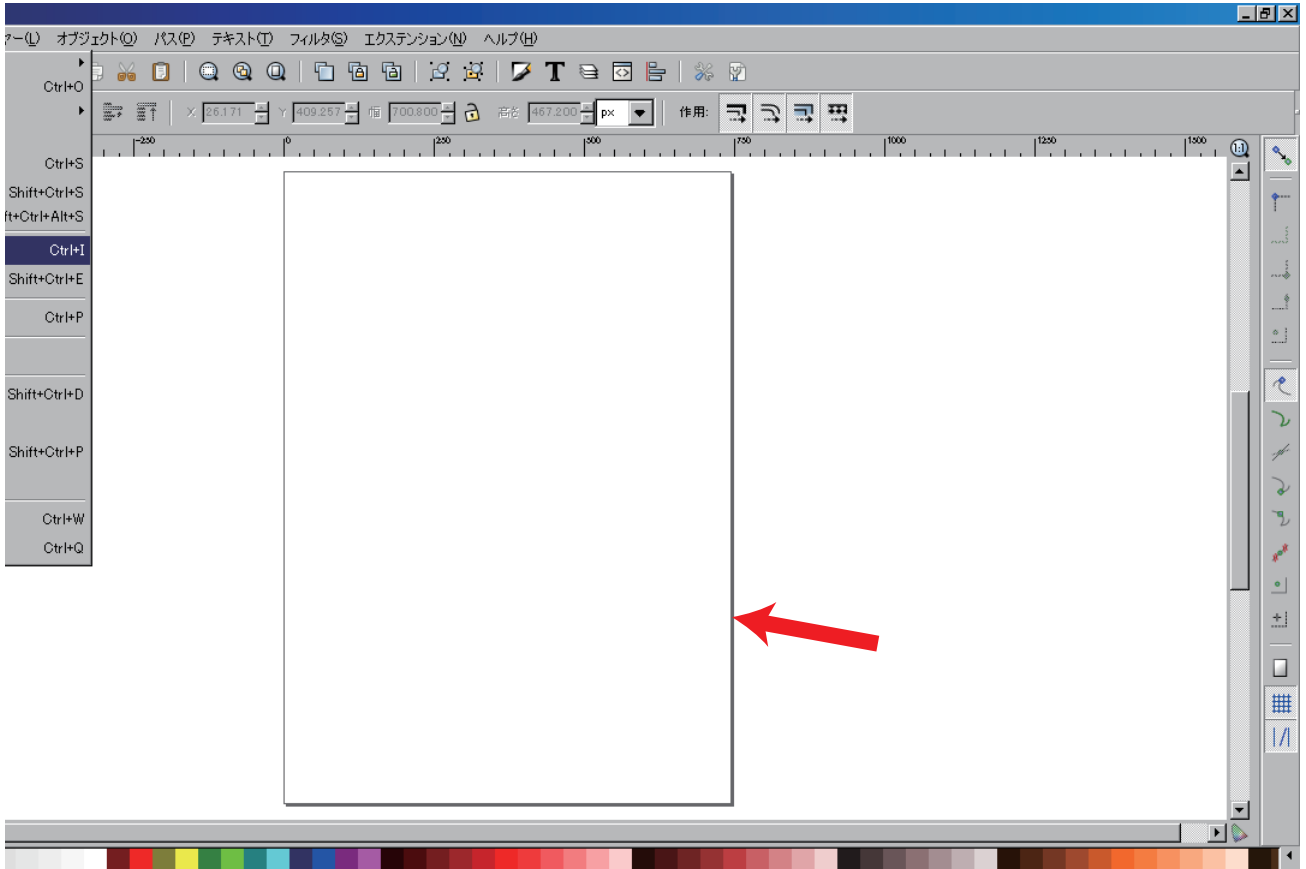
Inkscapeファイルを開く際、Inkscapeファイルとは別に存在する画像ファイルを参照し読み込み、表示する。Inkscapeファイルは画像を含まないので、小さなファイルサイズとなる。



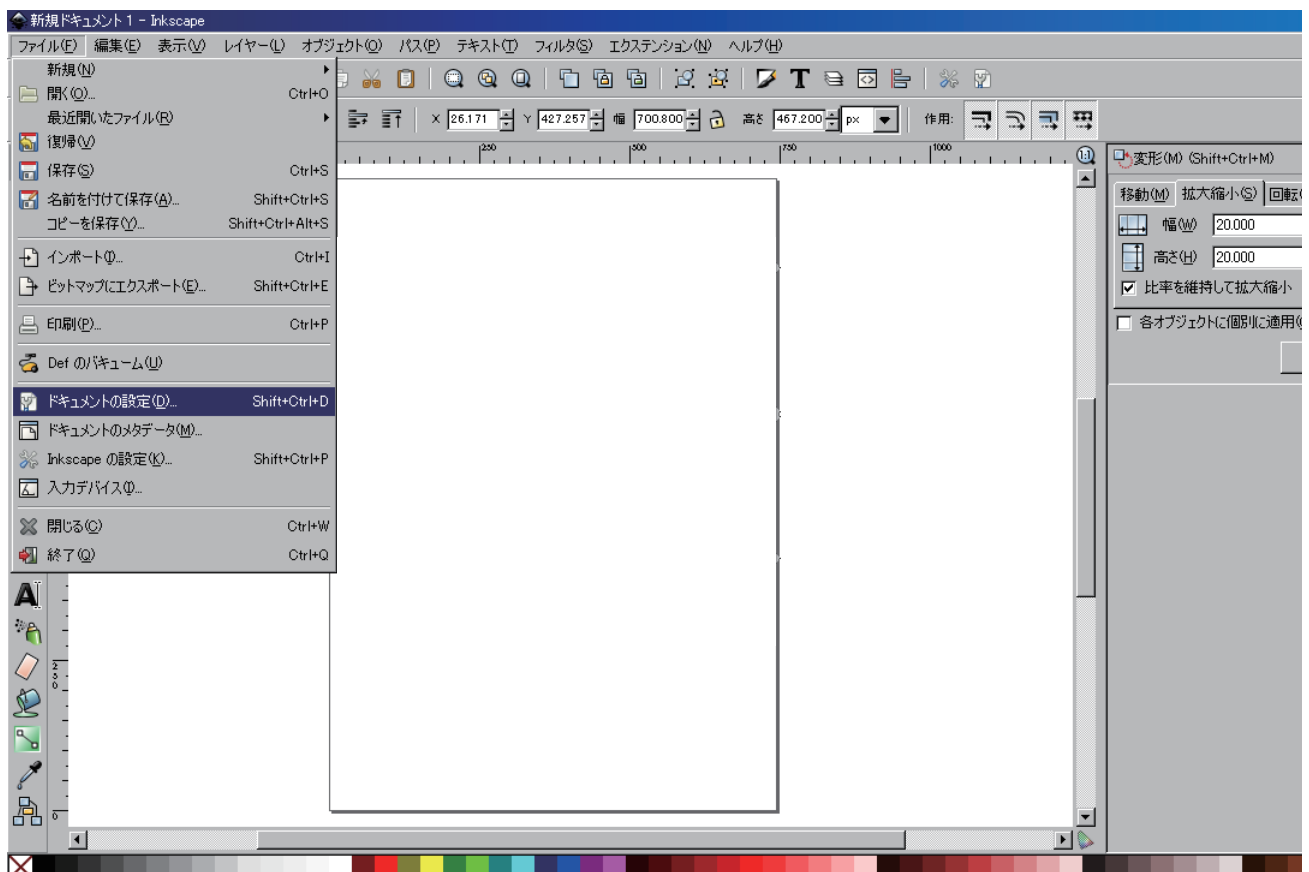
実際の作業では「2) 画像のリンク」で行う。ファイルの整理をする際、別のフォルダやUSBメモリーに移動、コピーするときは、Inkscapeファイルと画像ファイルが入ったフォルダごと移動する。Inkscapeファイルのみを移動した場合、画像ファイルを参照することができず画像が表示されなくなる。

(厳密には同一フォルダでなくとも良いが、ファイルの管理をシンプルにするためには、こうするのがよい)

書類の大きさ(印刷範囲)の設定

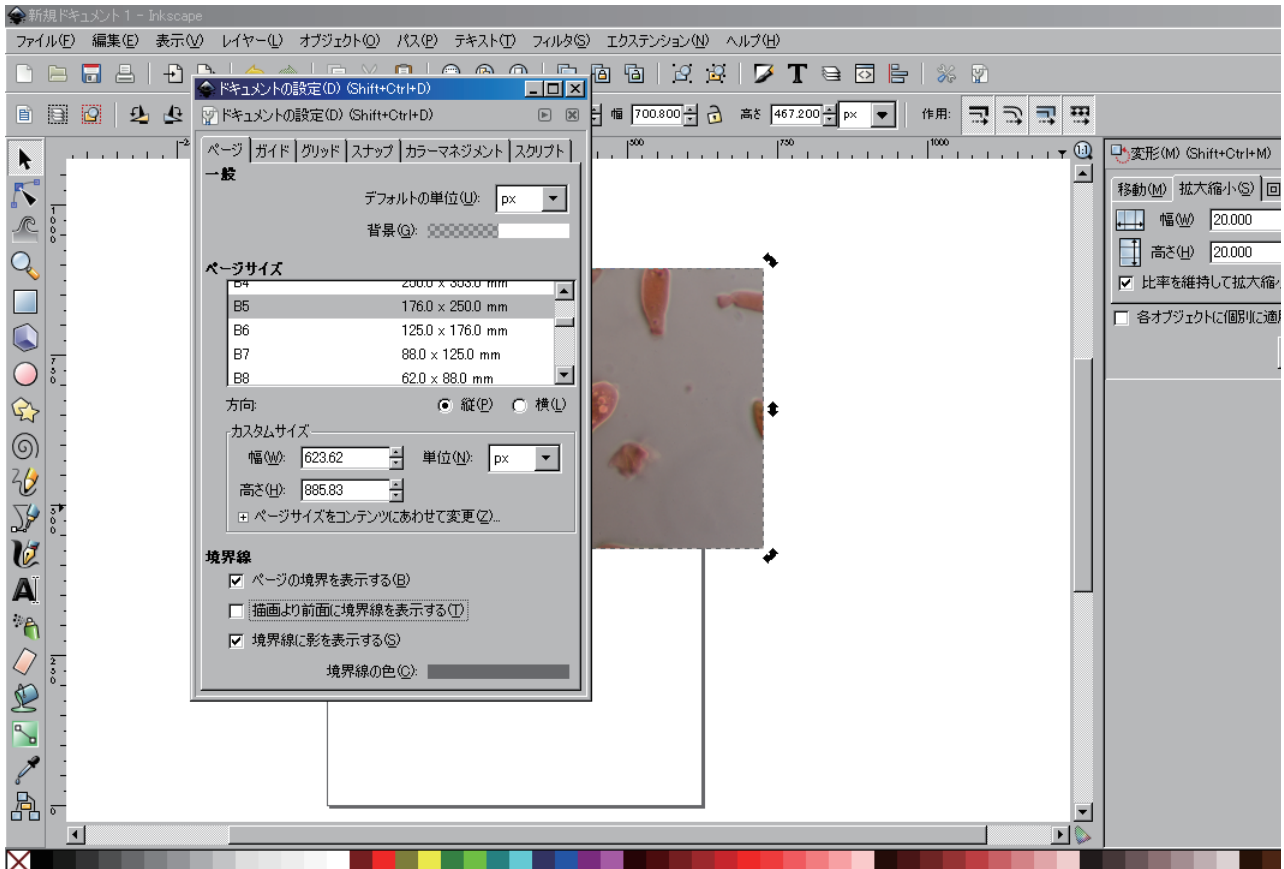


Inkscapeを起動すると、キャンパス中央に4角形のエリアが表示される。これは、印刷される範囲を表示したもので、初期設定はA4サイズに設定されているが大きさを変更したり非表示にしたりすることが出来る。



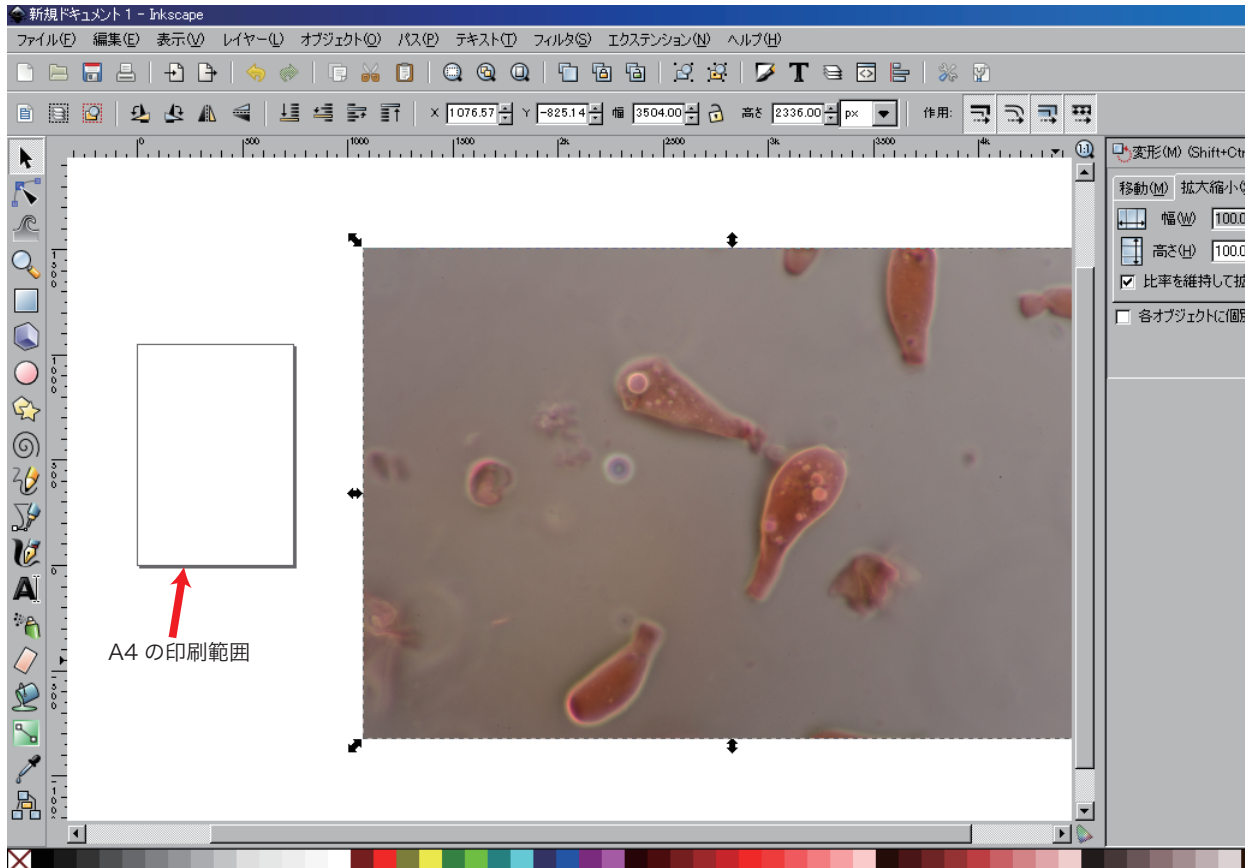
「ファイル」の「ドキュメント設定」を実行

書類の大きさ(印刷範囲)の設定

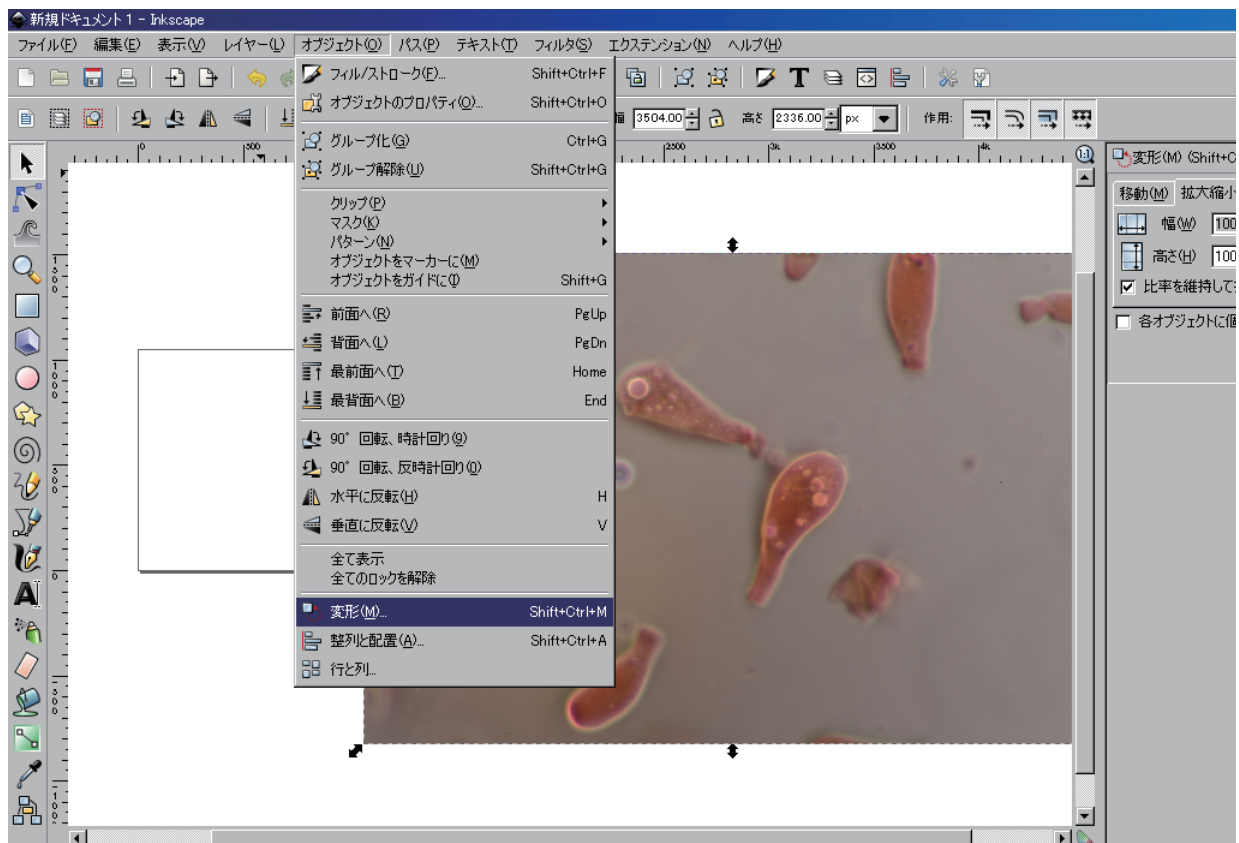


ドキュメント設定ダイアログでは様々な設定が出来る。「印刷範囲を表示する四角」を非表示にするには、「ページの境界のを標示する」のチェックをはずす。

画像の縮小

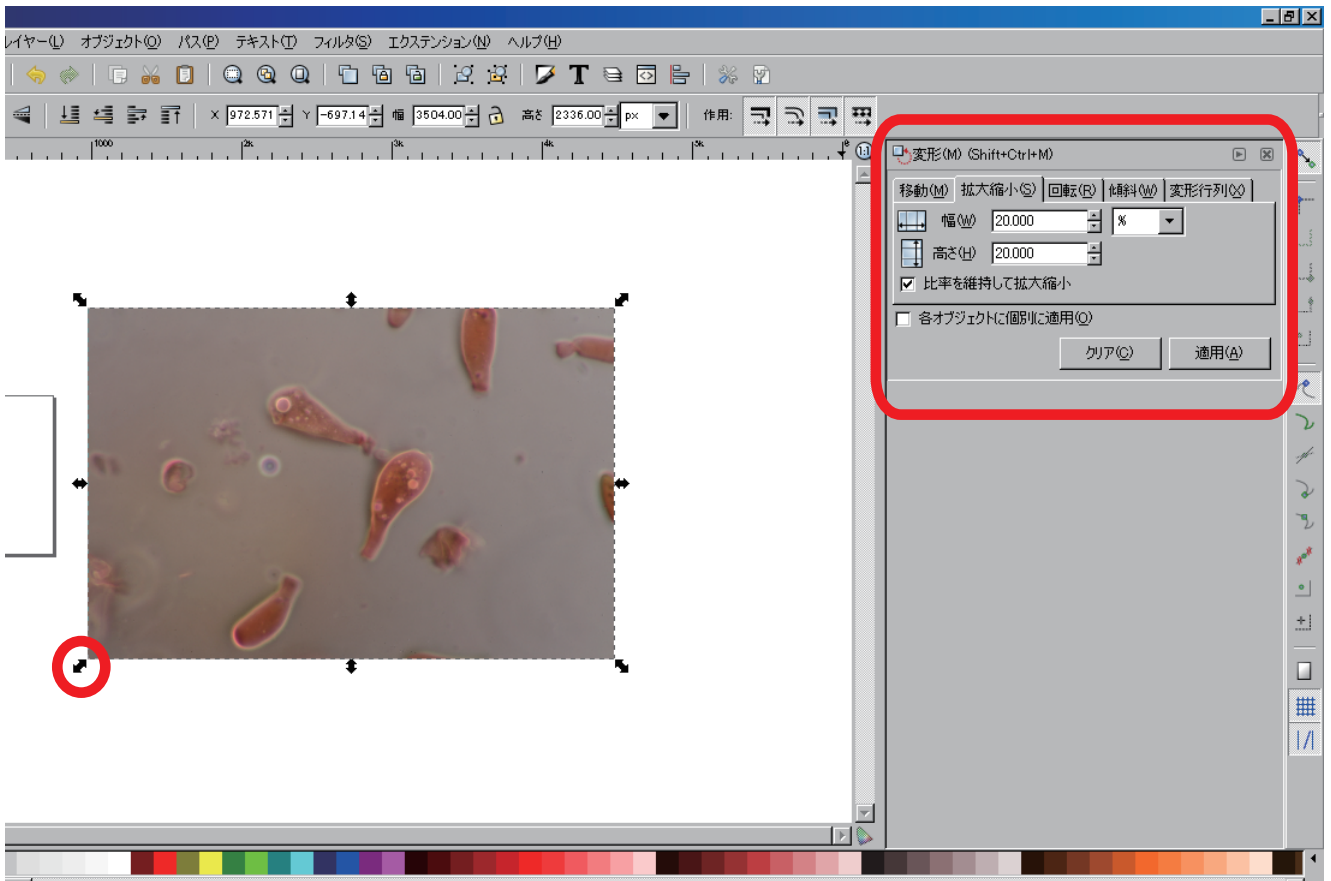


通常、デジタルカメラで撮影した画像を読み込むとA4サイズよりも大きいので、A4サイズに収まるよう縮小する。

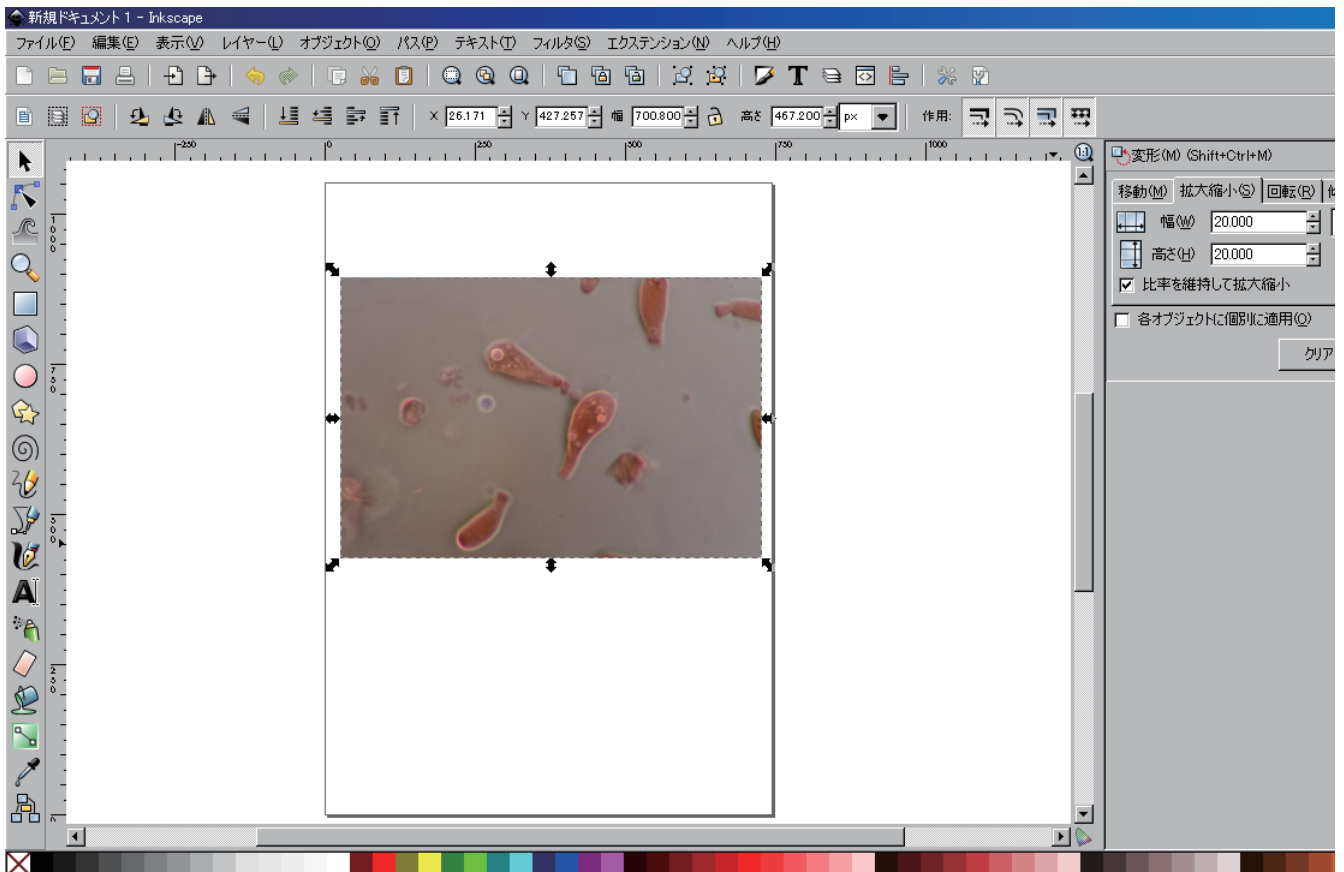


画像を選択し、「オブジェクト」から「変形」を実行する。

画像の縮小

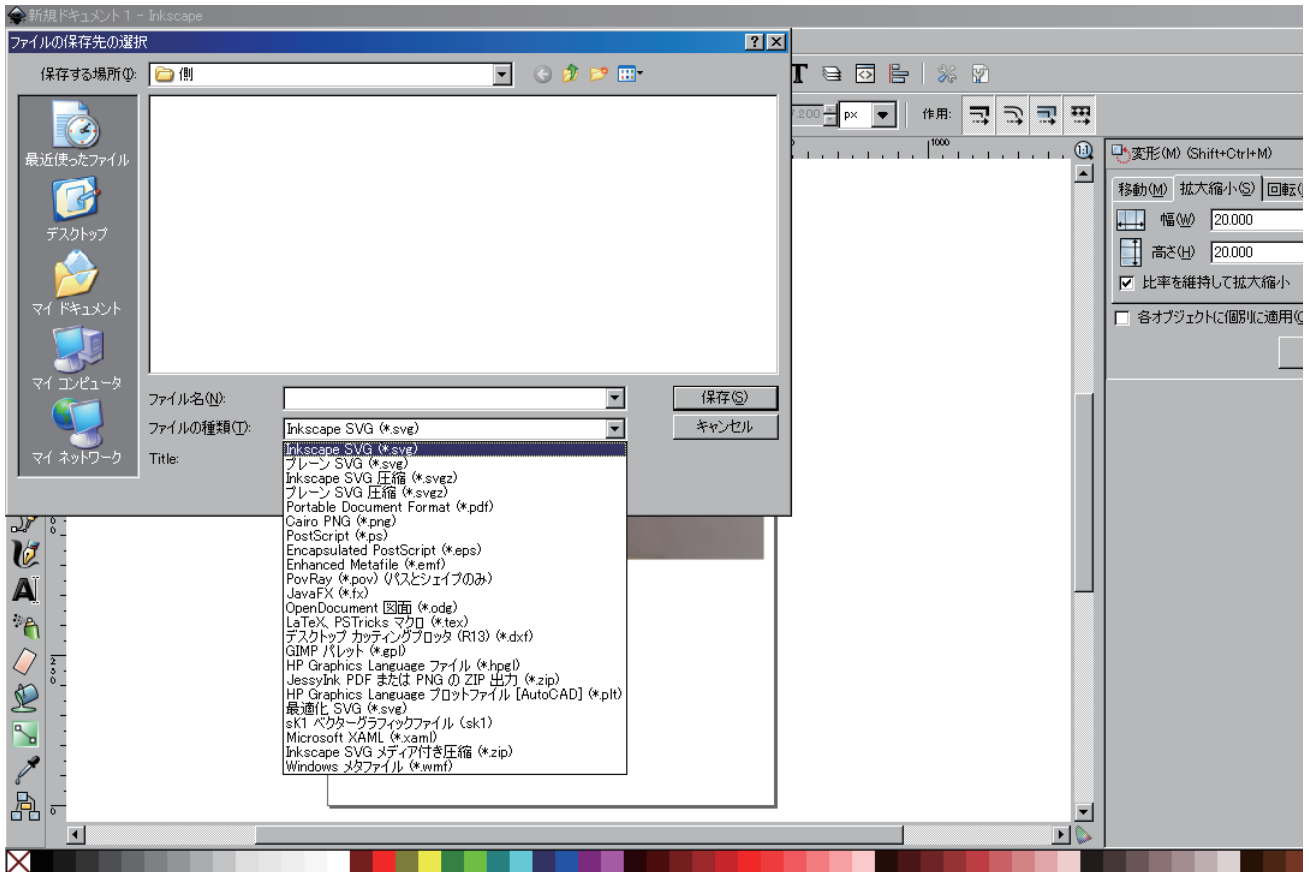


右側に変形ウィンドウが表示される。拡大縮小は「選択ツール」で赤丸で示した部分をドラッグすることでもできるが、常に一定の割合で縮小するためには数値で設定する必要がある。ここでは20%に縮小する。

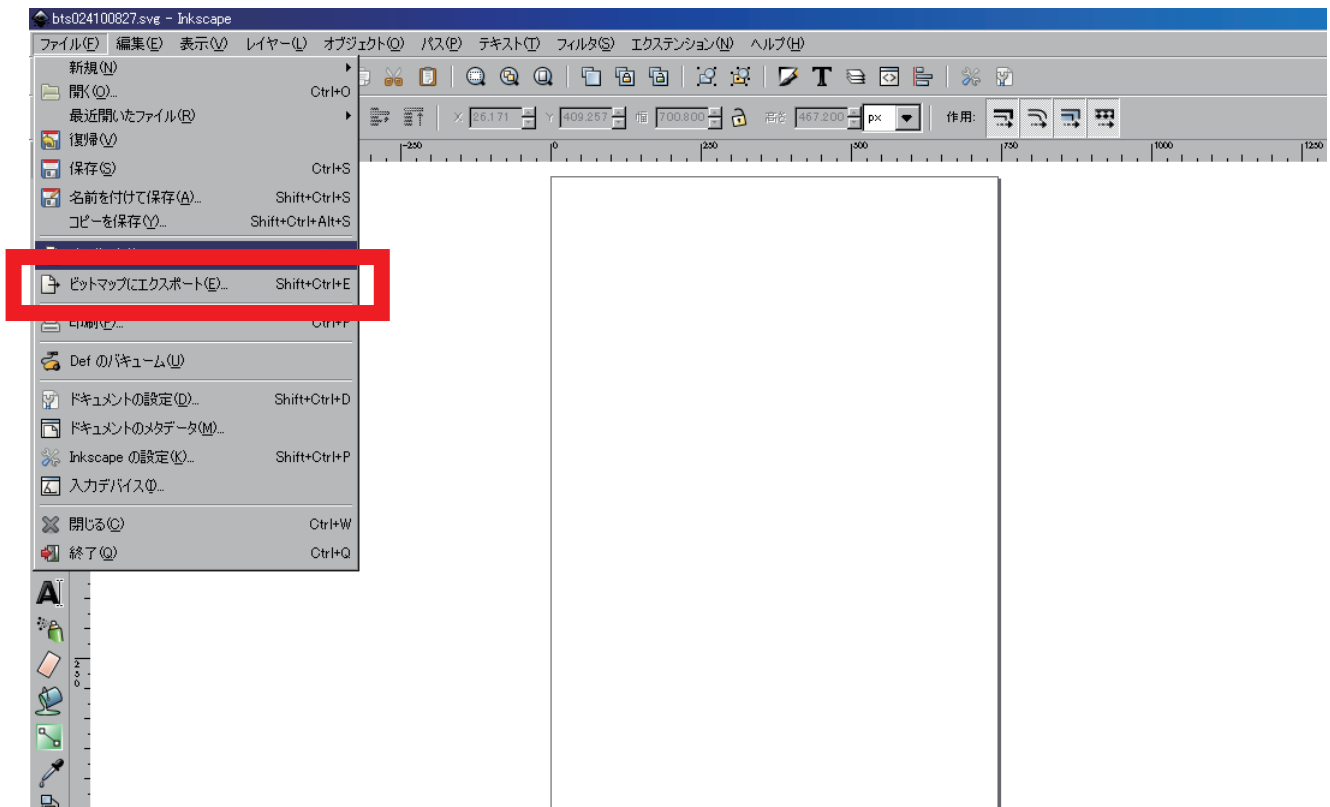


20%に縮小した画像を、A4印刷範囲に配置した。

ファイルの保存



Inkscapeの標準ファイル形式はInkscape SVG形式である。その他、沢山のファイル形式で保存できるようになっているが、それらは別のアプリケーション(CADや3DCGなど)で読み込むための形式である。検鏡図を配布するような場合はPDFを使うと汎用性が高い。



検鏡図を画像として保存するには、「ビットマップにエクスポート」を使う。解像度は300dpiに設定すれば、大抵のプリンターで鮮明に印刷可能である。

